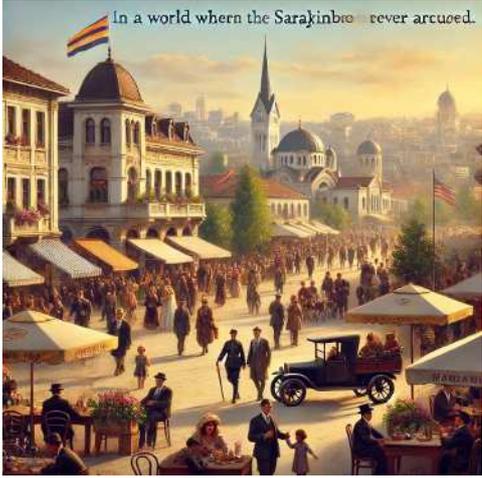


生成 AI 研究校実践事例

学校名	都立井草高等学校		
学年	第 1 学年	教科等	歴史総合
単元名 (全 1 時間)	生成 AI 研究授業 (全 1 時間)		
授業の概要	生成 AI (人工知能生成技術) を用いて生徒の歴史観の育成を行う。生徒は生成 AI の仕組みを理解し、授業で学習した事を踏まえて歴史探究を行う。		
本時において生成 AI を活用する良さ (※初回授業は不要)	生成 AI を活用することで、生徒がプロンプトを調整しながら新たな歴史を創っていく。そして、その可能性や史実との比較を行うことで、歴史はありとあらゆる出来事が契機となり、その後の世界を構築していくと理解させることができる。		

本時の目標 (1/1 時間)	歴史的事象の因果関係の理解を深め、歴史をより深く学べる歴史的な思考力、批判的思考の向上を図る。															
	● 主な学習活動・生徒の活用	□ 生成 AI の活用														
本時の流れ	<p>● 史実通りの第一次世界大戦の流れを確認する。(4 分) (バルカン戦争からパリ講和会議まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の授業プリントと見比べながら流れを確認するとともに、担当する生成テーマを再認識する。 <p>● グループワーク発表準備(10 分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5~6 人 1 組のグループを作る(前時作成済) 役割分担 (前時決定済み) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A 班</td><td>バルカン戦争が起きなかったら</td></tr> <tr><td>B 班</td><td>サラエボ事件が起きなかったら</td></tr> <tr><td>C 班</td><td>ドイツが勝利した西部戦線の塹壕戦</td></tr> <tr><td>D 班</td><td>ロシアが勝利したタンネンベルクの戦い</td></tr> <tr><td>E 班</td><td>ロシア革命が起きなかったら</td></tr> <tr><td>F 班</td><td>ドイツが勝利した場合の講和と交渉の台本と実演</td></tr> <tr><td>G 班</td><td>ドイツが勝利した場合のその後の</td></tr> </table> <p>👉 歴史はどのように予測できるか</p> <p>● 「第一次世界大戦が起きなかった場合の歴史はどのようなものか」(31 分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 順に発表していく。 発表内容が史実とどのように異なるかそれぞれ確認する。 <p>● まとめ (5 分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史の転換点が幾重にも積み上がり現在の世界が構築されていることに気づく。 👉 つまり、歴史の中で 1 点でも異なる結果になっていれば、現在の世界は成立していないということ。(本時の結論) 	A 班	バルカン戦争が起きなかったら	B 班	サラエボ事件が起きなかったら	C 班	ドイツが勝利した西部戦線の塹壕戦	D 班	ロシアが勝利したタンネンベルクの戦い	E 班	ロシア革命が起きなかったら	F 班	ドイツが勝利した場合の講和と交渉の台本と実演	G 班	ドイツが勝利した場合のその後の	<p>※生成 AI ソフト</p> <p>文章生成：exaBase 画像生成：Adobe Firefly</p> <p>□ 生徒が生成 AI (exaBase) を使って、担当班の問いに対する答えを模索し、班内で共有する。</p> <p>その際は、前時までで学習した「バルカン戦争、西部戦線、相次ぐ革命」などを踏まえて説明し、生徒が既習知識と繋がるように促す。</p> <p>□ 生成 AI (exaBase) で出た解答に対し、生徒が生成 AI (Adobe Firefly) を使って、その情景を画像生成し発表の際にクラス全体で共有する。</p> <p>□ 生成 AI を活用し、「if」の歴史を創造したが、歴史学において「if」は存在しないことを理解させる。</p>
A 班	バルカン戦争が起きなかったら															
B 班	サラエボ事件が起きなかったら															
C 班	ドイツが勝利した西部戦線の塹壕戦															
D 班	ロシアが勝利したタンネンベルクの戦い															
E 班	ロシア革命が起きなかったら															
F 班	ドイツが勝利した場合の講和と交渉の台本と実演															
G 班	ドイツが勝利した場合のその後の															

	使用したプロンプト例	出力例
1	バルカン戦争が起きなかったら	<p>【A 班担当】 図：世界大戦のない世界線のヨーロッパ</p> <p>バルカン戦争が起きなかった場合、第一次世界大戦の引き金となった複雑な紛争状況が緩和され、戦争の勃発が遅れる可能性が高かったです。バルカン地域の安定が保たれていれば、列強国間の緊張が少し和らぎ、外交交渉の余地が増えたかもしれません。その結果、ヨーロッパの政治地図や国際関係に大きな変化が生じ、戦争による甚大な被害を回避できた可能性があります。また、文化や経済の発展も異なる軌跡を辿り、現代の世界情勢にも影響を与えることとなったでしょう。とはいえ、歴史は多くの要因が絡み合っているため、一概に全ての問題が解決したとは言いきれません。</p> 
2	ドイツが勝利した場合の講和と交渉の台本	<p>タイトル：勝利の影 - ドイツ主導のパリ講和会議</p> <p>【登場人物】：</p> <p>ドイツ代表：オットー・フォン・ビスマルク（仮名）</p> <p>フランス代表：ジョルジュ・クレマンソー</p> <p>（その他）…</p> <p>.....</p> <p>シーン 1：会議室 - 朝</p> <p>（大きな会議室、豪華なシャンデリアが輝く中、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ、オーストリア＝ハンガリーの代表が集まっている。ドイツ代表のオットー・フォン・ビスマルクが中央の席に座っている。）</p> <p>オットー・フォン・ビスマルク：</p> <p>（微笑みながら）皆様、本日はお集まりいただき感謝いたします。ドイツ帝国の勝利をもって、我々は新しいヨーロッパの秩序を築くためにここに集いました…</p> <p>（続く）</p>